

「高次脳機能障害」の診断を受けてから

社会へとつなげる支援の現状とあり方

高次脳機能障害を持つと、記憶、注意、社会的行動などに問題をきたすため、社会や家庭での生活に重大な支障をもたらします。しかし、外見からは症状がわかりにくく、日常生活の中で初めて明らかになる症状も多いことから、医療機関や福祉施設などでも障害が過小評価され、適切な支援が受けられずにいるケースが少なくありません。

広島県内には、高次脳機能障害を持つ方やご家族のための相談・支援窓口があります。支援体制や相談の現状について理解を深めていただき、積極的な活用により、自立と社会参加につなげていただきたいと思います。

講演1

広島県の高次脳機能障害の支援体制

広島県高次脳機能センター長 近藤 啓太氏

講演2

広島県高次脳機能センターの相談の実情 一事例を通して

コーディネーター 高上 清人氏

講演3

いでした高次脳機能外来・デイケアの取り組み

いでした内科・神経内科クリニック 院長 井手下 久登氏

対談

サポートネットひろしまの相談の実情

法人理事長・家族会代表 濱田 小夜子氏
法人理事・言語聴覚士 本多 留美氏

【高次脳機能障害サポートネットひろしま】

家族会である「脳外傷友の会広島シェイキングハンス」と当事者のための通所施設「クラブハウス・シェイキングハンス」を運営しています。相談窓口を常設するとともに、県内5か所で家族相談会を毎月開催しています。当事者・ご家族と悩みを共有し、関係機関と連携しながら支援を行います。

とき

平成30年1月28日(日)

午後1時～午後4時30分

(受付：午後12時30分～)

ところ

広島市南区地域福祉センター

(南区役所別館3F)

(広島市南区皆実一丁目4-46)

受講料：無料 定員：100名

お申込み・お問い合わせ先

広島県高次脳機能センター

〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3

広島県立障害者リハビリテーションセンター内

電話：082-425-1455

FAX：082-425-1094

Eメール：koujinou2@hiroshima-wsc.jp

(担当：永谷 高上 山下)

主催／広島県リハビリテーション講習会実行委員会

後援／広島県 協力団体／NPO法人 高次脳機能障害サポートネットひろしま

